



11月の数コミ日記



広報活動①「オープンスクール」

10月19日(土)、本校のオープンスクールが行われました。授業参観後の「全体会」と、その後行われた「数コミ説明会」では、それぞれ数コミ生徒が、中学生と保護者に対して学校説明を行いました。多くの中学生および保護者の方にお越しいただきまして、まことにありがとうございました。

「全体会」

全体会では、数コミ2年の3名の生徒が数コミの特徴や3年間を通じた活動について、10分間説明しました。



「数コミ説明会」

全体会後に開かれた数コミ説明会は、1年6名、2年3名の生徒が研修や各種プログラムへの参加についてスライドを使って、詳細に説明しました。また夏季研修で作成した1年生のポスターや、香煌祭で作成した数コミスイッチなどを展示したり在校生との座談会を実施したりしました。



今回、説明に参加した生徒たちは、事前の募集で自ら立候補した人ばかりです。スライドを作り、原稿、会場準備、誘導方法など自ら考え、発表練習を繰り返し行い、前日も暗くなるまで準備しました。不手際もあったかもしれませんが、ご来場の皆様に少しでも本コースの生徒たちの思いや姿をお伝えできたなら幸いです。ご来場の皆様、ありがとうございました。



広報活動②「小学生向け高校説明会」

11月16日(土)、小学生向けの高校説明会が福岡高校で行われました。生徒会、英語科の1年生と共に、数コミからも3名の1年生がスライドを使って、明るく、楽しく説明しました。当日は、空気砲の実験を披露し、会場は大いに盛り上がりました。



速報！日本学生科学賞 結果報告

数コミは課題研究の集大成として、毎年「日本学生科学賞」に科学論文を出品しています。「日本学生科学賞」とは、毎年行われる中高生を対象とした科学コンクールで、伝統と権威のある科学賞で知られています。去年は、全国から約8万点の研究が集まったと発表され、このコンクールの規模の大きさが分かります。そのうち、地方審査や事前審査を通過した上位300点の作品が中央予備審査に進出し、さらに上位30点が中央審査に進みます。

今年の福岡県審査の結果です。物理・化学・生物の3分野のうち2分野で最優秀賞を受賞しました。この2作品と事前審査を通過した数学分野の1作品は中央予備審査に進みました。これまで、3年生の課題研究に御指導・御助言をいただきました全ての方に御礼を申し上げます。

令和6年度 日本学生科学賞結果【数理コミュニケーションコース3年】

最優秀賞	物理	2次元配列振り子の共振現象に関する研究 ～理論化のための振動モードの考察～	曲 筱暄、三浦 はな
最優秀賞	化学	NOx簡易測定装置の開発と実用化? 目指せ! 精度の向上?	渡邊 知郁、吉川 未祐、河村 悠美
優秀賞	化学	酸化タングステンを用いた発電に関する研究	山崎 彩、小野寺 渚
優秀賞	生物	ウミニナの生態に関する研究	入部 隆之亮、阪木 孝太郎
努力賞	化学	食品ロス対策となる色素増感太陽電池	野瀬 雅仁、垣副 真生人、川添 蒼太、小林 大晟、米倉 滉貴
努力賞	化学	活性炭によるリン酸の吸着	大堂 煌星、田中 睦朗、細野 壮汰、森永 春
努力賞	生物	アメリカツノウズムシの生態 ～プラナリアの在来種を守るために～	南里 ちひろ、福本 凜
努力賞	生物	ウメノキゴケを用いたお茶の開発? まだ見ぬお茶を求めて?	山本 怜央、雨宮 賢太朗、田平 佑太、野添 佑太